

岡山つぼみの会

1 型糖尿病患者・家族会

岡山つぼみの会（正式名称：岡山小児糖尿病協会）は、昭和52年4月に発足し、岡山県下を主体とした1型糖尿病患者とその家族の会です。

同じ病気の患者とその家族同士で助け合い、医療スタッフ、栄養士会、病院事務局、医薬品メーカー、OB・OG、ボランティアの方々に協力してもらいながら、1型糖尿病と共に生活し、社会に貢献することを目的として、明るく交流活動しています。

発症間もなく将来が不安・・・
学校生活はどうしたらいいの？
コントロールは
 どうやっているの？
会の活動内容は？
新しい治療について知りたい！



岡山つぼみの会は・・・

- 会員は、幼稚園入園前の小さいお子さんから高校生までの正会員（患者とその家族）、18歳以上のヤング会員（患者とその家族）、賛助会員で構成。
 - 住居区域：岡山市・倉敷市・笠岡市・総社市・玉野市・新見市・瀬戸内市・津山市・福山市など
 - 通院先：岡山赤十字病院・岡山大学病院・岡山医療センター・岡山済生会総合病院・倉敷中央病院・福山医療センター・日本鋼管福山病院・福山市民病院 ほか
 - インスリンポンプやカーボカウントの勉強会、『さかえ』や情報誌などの配付
 - WA!の会（岡山1型糖尿病の会）や 日本IDDMネットワークとの連携
- | | |
|-----|-------------------|
| 4月 | 総会（講演会など） |
| 8月 | サマーキャンプ、教職員向け研修会 |
| 11月 | レクリエーション（ボーリングなど） |
| 12月 | クリスマス会 |
| 2月 | 情報交換会 |

活動詳細はホームページもご覧ください♪

突然、1型糖尿病と診断されて・・・

1型糖尿病（IDDM、小児糖尿病と呼ばれることもあります）は、血糖を下げるホルモンであるインスリンが突然出なくなってしまう自己免疫疾患の一つで、糖尿病患者の99%を占める2型糖尿病（生活習慣病）とは原因も治療の考え方も異なります。

2型糖尿病に比べ小児期に発症することが多く、いったん発症すると膵臓移植や膵島移植を受けるか、生涯にわたって毎日数回のインスリン自己注射又はポンプによる注入を続ける以外に治療はありません。日本における年間発症率は10万人あたり1～2人という希少性が高い病気です。

血糖値は、食事・運動と密接な関係にありますので、食事摂取も炭水化物の量、並びに栄養のバランスを考え、運動に当たっても消費エネルギーを理解する必要があります。同時に地域では稀な疾患であり、「自分だけがコントロールを強要されているのではないか」という孤独とストレスがあります。ともすれば、コントロールの乱れる生活を送りかねません。

ご家族の皆様には、お子さまが突然思いもよらない診断を受けられ、大変なご心配と不安を感じておられることとお察しいたします。岡山つぼみの会の子どもや家族の皆さんも様々な不安な気持ち乗り越えて、サマーキャンプなどを通じて仲間を作り、勇気づけられています。「自己コントロール」の力・習慣を身につけ、明るい生活を送られています。ぜひ私たちと一緒に前向きに歩きましょう。

ひとりで悩まず、お問い合わせ・入会希望はこちらまで♪

■ 入会のご案内

入会は電話・FAX・E-mail・ホームページより申込み可能です。

※お送り頂いた個人情報や連絡先などは、目的以外に使用致しません。

■ 会費

入会金 3,000円

年会費 5,000円（但し、10月以降入会は月額500円とする）

3,000円（糖尿病月刊誌『さかえ』不要会員）

■ 連絡先

〒700-8607

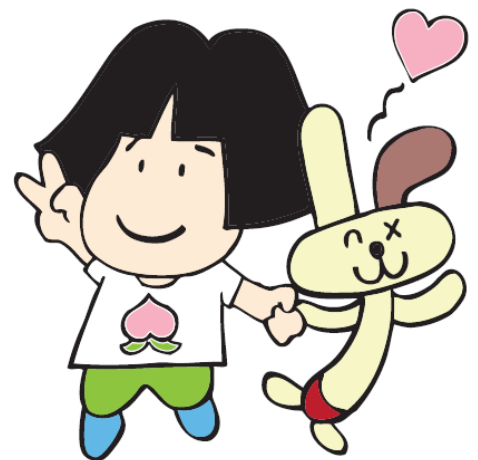
岡山県岡山市北区青江2丁目1-1

岡山赤十字病院 医療社会事業部社会課

TEL：086-222-8811 FAX：086-222-8841

URL：<http://okayamatubomi.web.fc2.com/>

E-mail：shakai@okayama-med.jrc.or.jp



はなちゃんとチクリ